

第 30 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムに論文を提出される皆様へ

電気学会論文誌 E への同時投稿のご案内

- 本年も、掲載料の割引を行います -

電気学会 E 部門編修委員会 委員長
前中 一介

平素は「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムおよび電気学会論文誌 E（センサ・マイクロマシン部門誌）に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

電気学会論文誌 E では、第 30 回センサシンポジウムにご投稿の講演論文を、同時に論文誌 E に投稿いただく「同時投稿」を歓迎いたします。本「同時投稿」制度では、シンポジウム講演論文と同一の内容のご投稿いただいても「二重投稿」「著作権上の問題」には当たりません* ので、皆様の研究成果をシンポジウムを超えて、より広く発信いただくためにご利用いただけます。

* 電気学会論文誌投稿手引 [1] 投稿規則 2.1 (6) による

2013 年 10 月 25 日（金）までに論文誌 E に「同時投稿」いただけた場合、掲載料を 50%（ただし上限 2 万円）割引しますので、費用もお得です。

なお、電気学会論文誌への投稿に際しては、以下の点についてご留意をお願いいたします。

- ・センサシンポジウム講演論文と電気学会論文誌では、原稿フォーマットは類似しているものの若干の差異がございます。著者紹介の追加等が必要になります。フォーマットは著者の責任で変更をお願いいたします。詳しくは電気学会ホームページから「論文投稿」のページをご覧ください、投稿手引およびテンプレートをご確認ください。
- ・投稿は、電気学会ホームページの「論文投稿」ページから「電子投稿・査読システム」を使って行います。同システムの投稿画面下方にある特集テーマリストにおいて『第 30 回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム』同時投稿論文を必ず選択してください。（未選択の場合は割引特典を受けられない場合があります）
- ・論文の掲載のためには、一般投稿論文と同様の査読を行います。掲載可の判定となった論文から、順次論文誌に掲載を行います。
- ・電気学会以外の学協会に対し著作権を譲渡した講演論文は、本「同時投稿」制度を使った投稿はできません。
- ・非会員の方の投稿も可能です。しかし、この機会に電気学会への入会をご検討いただければ幸いです。電気学会ホームページではオンラインで入会申込が可能です。入会されると掲載料に会員価格が適用されるとともに、毎月発行される会誌と論文誌が購読でき、バックナンバーも購読可能になります。学生の方は、センサシンポ参加登録と同時に電気学会に入会いただくと、1 年間の電気学会会費が無料になるキャンペーンを行っています。
- ・電気学会ホームページはこちらです。（<http://www.iee.or.jp/>）

連絡先：

ご不明な点がございましたら、下記までメールにて気軽にお尋ねください。皆様の論文誌 E への投稿を心よりお待ちしております。

E 部門論文委員会主査 安部 隆（新潟大学） memsabe@eng.niigata-u.ac.jp